



Travelport

Worldspan

Script for Ticket Exchange (EZ...) Users Guide

交換発行スクリプト(発券指示用)
ユーザーズガイド

Version 1.0.4 : 16 Jul 2013

目 次

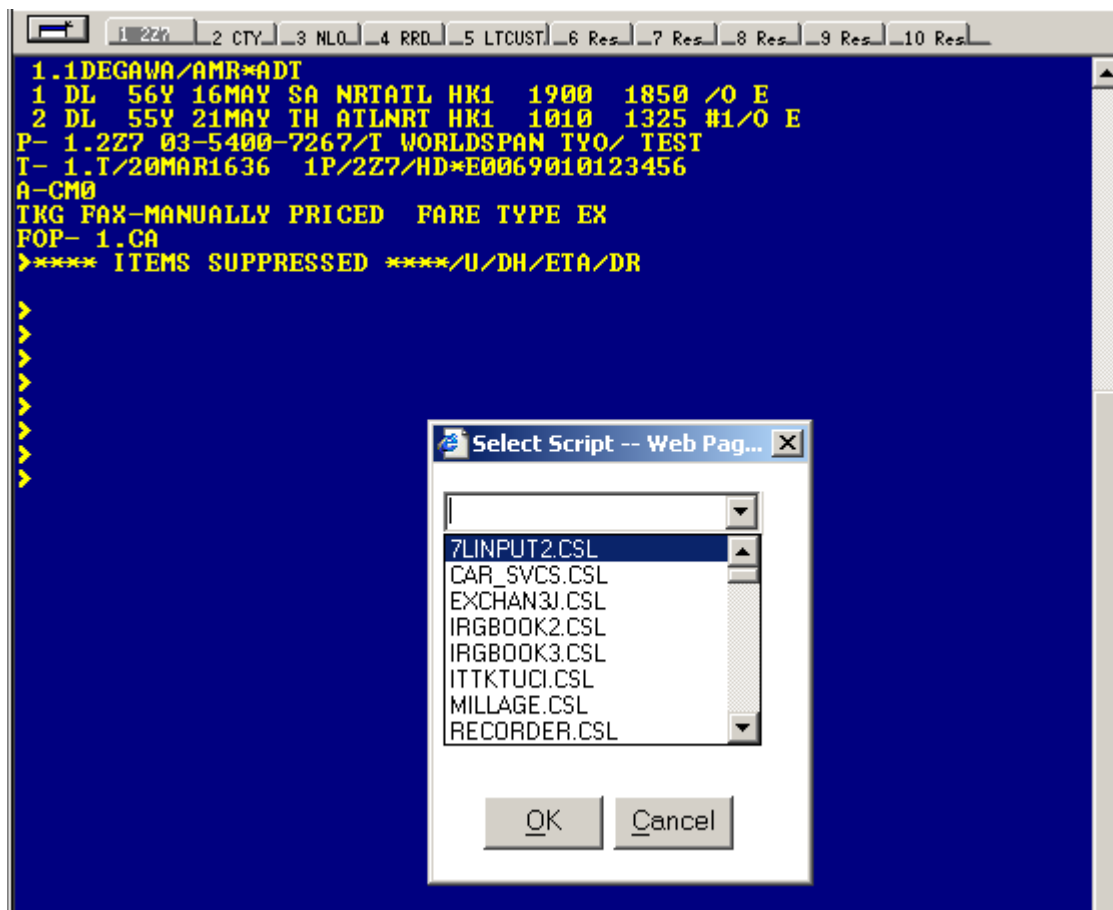
1. 本スクリプトについて.....	2
2. スクリプトの使用手順.....	3

1. 本スクリプトについて

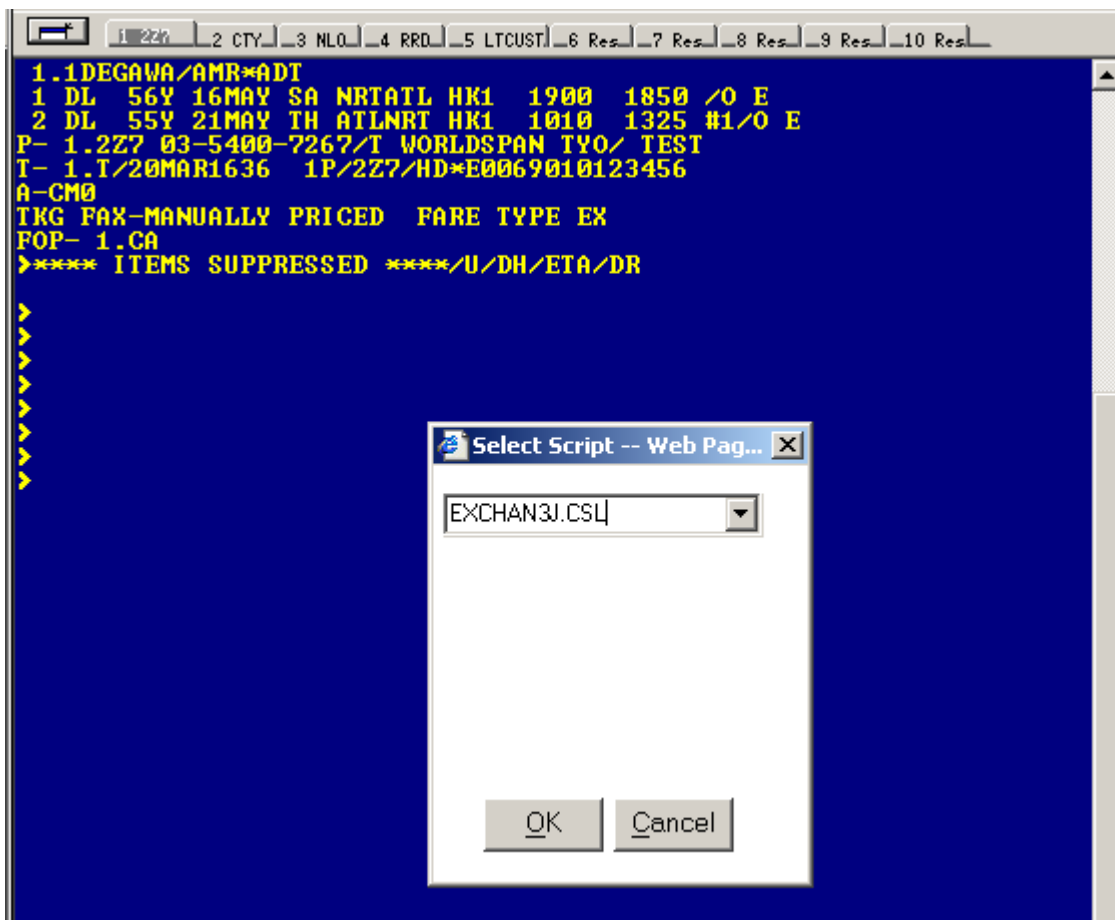
本スクリプトは、Ticket Exchange(交換発行)を行うステップにおいて、ステップ最後の発券指示のエントリ入力を補助するためのツールです。本書では、その使用方法について説明します。

なお、発券指示の前のステップである運賃データの入力/修正については、本スクリプトには含まれていませんので、Worldspan® ezPricing を利用するか、予約端末画面でエントリを直接発信するか、いずれかの方法で、予め Ticket Exchange(交換発行)用の運賃データを PNR に保存してください。

2. スクリプトの使用手順



- 1) PNR(交換発行用の運賃データ保存済みのもの)を表示します。
- 2) [Ctrl]キーと [S]キーを押下して、上記[Select Script]画面を表示します。



- 3) キーボードの[E]のキーを押すと、上記画面のように、本スクリプト(EXCHAN3J.CSL)が選択されますので、[OK]をクリックします。



ワンポイント

上記手順 2)および 3)を行う代わりに、本スクリプトを予め My Links に登録をしておくと、本スクリプトを簡単に起動することができます。(My Links への詳細な登録方法については、Worldspan go! ユーザーズガイドを参照してください。)

4) 上記の画面が表示されますので、各項目に適宜、データを入力します。各項目の詳細については、以下を参照して下さい。

- 発券タイプ: 交換発行する発券指示を選びます。
 [E-TKT NO ITIN (EZEI)] .E チケットのみを発行(アイテナリレシート無し)
 [E-TKT PPR ITN]E チケット+ハードコピープリンタでアイテナリレシートを発行



注意!

発券タイプの項目については、必ず発券指示を選択し、当該発券指示をクリックして、色を反転表示させてください。

- 元券番 1 (2,3): オリジナル航空券の番号を入力します。(13桁)
 (元券番 2・3 は、連番の航空券(Conjunction Ticket)の時に、使います)
- 元券番 4: 連番の航空券が 4 冊の場合、4 冊目の航空券の下3桁のみ入力
 (元券番 2・3 及びクーポン番号の入力は不要です。)

- 使用クーポン: 交換発行するクーポン番号を入力します。
例: 12、123、124 等
- 発券都市: オリジナル航空券の発行都市を、都市コードで入力します。
- 発行年月日: 日・月・年の順に入力します。
例: 20MAR09
- IATA: オリジナル航空券発行店舗の IATA 番号を入力します。
- 2 回目以降: 2回目以降の交換発行をする場合チェックを入れます。
元券番の入力は後で行います。
- 発行航空会社: 交換発行する航空会社のコードを入力します。
- VC: VC を入力します。
- CAR: CAR コードを入力します。
- 名前指定: 交換発行する旅客の名前の番号を指定します。
例: 2.1 、3.1 、5.1 等 (数字のみ入力)
- IATA 約款表示する: チェックを入れると、約款がアイテナリレシートに印字されます。
(EZELI を選択した場合のみ使用可能)
- TAX 内訳表示する: チェックを入れると、アイテナリレシートに TAX の明細が印字されます。
(EZELI を選択した場合のみ使用可能)
- IT 表示する: チェックを入れると、券面額が IT 表示となります。(IT 航空券の時に使用)
- 追徴金あり: 追徴金が発生する場合、チェックを入れます。
- FOP = CC ①追徴金無しで元券の FOP がカードの場合、カードの情報を入力します。
②追徴金有りで追徴金をカードで支払う場合、カードの情報を入力します。
- ORGFOP = CC 元券の発券時にカードを使用した場合、使用したカード会社のコードを入力します。
- OK: 上記で入力した項目で問題がなければ、[OK]をクリックすると、発券指示のエントリが端末画面に表示されるので、内容を確認し発信して下さい。



ワンポイント

DI (ドキュメント・インストラクション)を使用している場合は、上記の発券コマンドに、「#DIX」を付加して発券指示をするようにしてください。

- Abort: このスクリプトを中断する時に使用します。

<入力例>

The screenshot shows a dialog box titled "Exchange" with the following fields and values:

- 発券タイプ: E-TKT NO ITIN (EZEI)
- 元券番1: 0069010123456 使用クーポン: 12
- 元券番2: [Redacted] 使用クーポン: [Redacted]
- 元券番3: [Redacted] 使用クーポン: [Redacted]
- 元券番4(下3桁): [Redacted] ←券番2と3は省略
- 発券都市: TYO 発行年月日 DDDMMYY: 15JAN10
- IATA: 1630000 2回目以降: 3前指定: [Redacted]
- VC: [Redacted] CAR: [Redacted] 発行航空会社: DL
- IATA約款表示する: TAX内訳表示する:
- IT表示する: FOP=CC: ORGFOP=CC: [Redacted]
- 追徴金あり:

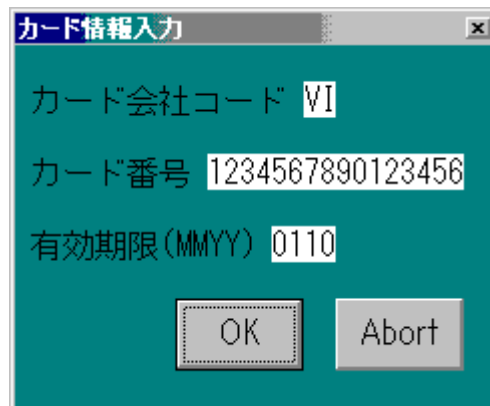
Buttons: OK, Abort

- 5) 上記(例)のように、必要項目を入力します。(大文字・小文字どちらでも入力可)
- 6) 入力が完了したら、[OK]をクリックします。

**ワンポイント**

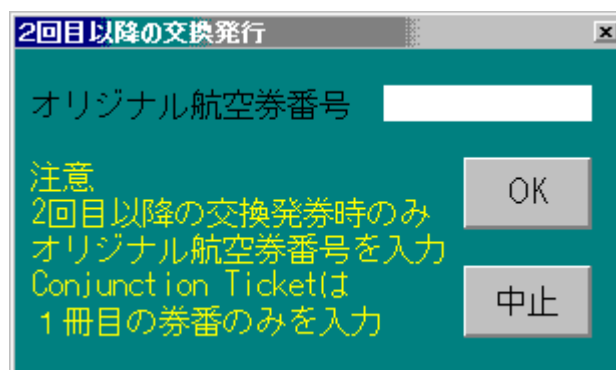
以下の項目は前回入力した内容が自動的に保存されます。
発券タイプ・発券都市・IATA・IATA 約款表示する・TAX 内訳表示する

- 7) FOP=CC にチェックが入っている場合、引き続きクレジットカード情報を入力する画面が表示されます。入力が完了したら[OK]をクリックします。

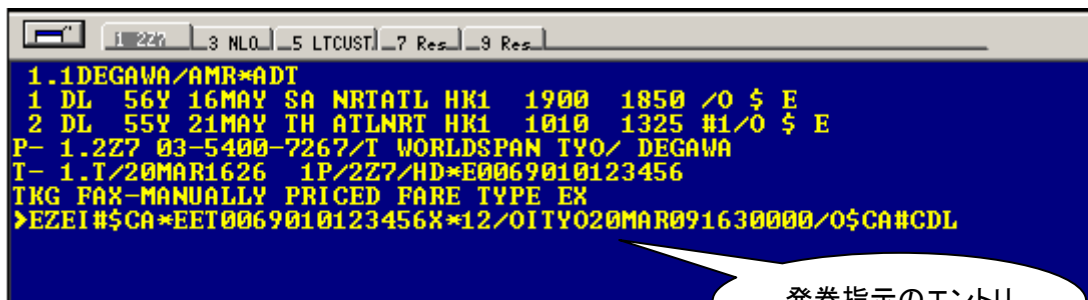


- カード会社コード: 使用するクレジットカードの会社コード(2文字)を入力します。
- カード番号: クレジットカード番号を入力します。
- 有効期限 (MMYY): クレジットカードの有効期限を入力します。(数字 4 桁)
- OK: 上記で入力した項目で問題がなければ、[OK]をクリックすると、発券指示のエントリが端末画面に表示されるので、内容を確認し発信して下さい。
- Abort: このスクリプトを中断する時に使用します。

- 8) 2回目以降の交換発行の場合は以下の画面が表示されますので、オリジナル航空券番号を入力します。Conjunction Ticket の場合は1冊目の券番のみを入力してください。入力が終わったら[OK]を押します。



<表示例>



```
1 1DEGAWA/AMR*ADI
1 DL 56Y 16MAY SA NRTATL HK1 1900 1850 /0 $ E
2 DL 55Y 21MAY TH ATLNRT HK1 1010 1325 #1/0 $ E
P- 1.2Z7 03-5400-7267/T WORLDSPAN TYO/ DEGAWA
T- 1.T/20MAR1626 1P/2Z7/HD*E0069010123456
TKG FAX-MANUALLY PRICED FARE TYPE EX
>EZEI#$CA*EET0069010123456X*12/OITY020MAR091630000/0$CA#CDL
```

発券指示のエントリ

- 9) [OK]をクリックすると、上記のように交換発行の発券指示のエントリが端末画面に出力されますので、内容を確認してから発信します。

以上

交換発行スクリプト(発券指示用) ユーザーズガイド

バージョン 1.0.4 : 2013年7月16日

発行: トラベルポート日本支社

東京都港区虎ノ門 5-1-4 東都ビル 3F

ヘルプデスク: 03-5400-7267(03 地域内)

0120-441778(03 地域外)

※ 弊社の許諾なき本書の複製および二次的配布については、厳にご遠慮願います。